

アルパイン バックビューカメラパッケージ

当製品の適合情報は2019年8月現在のものです。商品の仕様変更および、車両の仕様変更により予告無く変更になる場合があります。
最新の適合情報は弊社最新カタログ及びホームページ (<https://www.alpine.co.jp/>) にてご確認ください。

車種	年式	型式
デリカ D:5	H27/12 ~現在	LDA-CV1W/ DBA-CV2W/5W

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱い、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1 目次

1. 目次	1	7. 取付要領	6
2. 必要工具	1	1. 車両部品の取り外し	6
3. 取り付けにあたっての注意事項	2	2. クッションテープのカット	7
4. 構成部品	4	3. リヤビューカメラの取り付け	7
5. 取付概要	4	4. ナビゲーション本体の取り付け	13
6. 接続図	5	5. 車両部品の復元/動作確認	13
		8. 接続確認/システム設定	13

2 必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、オーナメントリムーバー、ソケットレンチセット、トルクレンチ、カッターナイフ、ニッパー、マスキングテープ、定規、保護メガネ、保護手袋（軍手）など、プライヤー、防錆剤、タッチアップペイント、シーリング剤、ドリル（9.5 mm、3.5 mm）、ホルソー（30 mm）、センターポンチ、ヤスリ、ビニールテープ

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店で取り付けを行ってください。
- ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

周辺確認は必ず運転者の目視で行ってください。カメラシステムは車両周辺確認のための補助装置です。画面に映し出される映像は車両周辺状況の一部です。カメラは広角レンズを使用しており、通常の視界と映し出される映像では距離感が違います。



映像が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止しお買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制御不能・火災の原因になります。



禁止

ねじなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



強制 禁止

コード類は運転の妨げにならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

走行前にカメラの取り付け状態、ねじの緩みがないか点検してください。事故の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



カメラの取り付け作業を行うとき、カメラの取り付け状態を点検するときなどは、車を平坦で安全なところに停めて必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。事故の原因になります。



コードの被膜を切って、他の機器の電源を取らないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切削粉や破片が入らないように保護してください。ケガの原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

運転中は、画面を見るのを最小限にしてください。走行中に画面を見ていると前方不注意となり事故の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。
火災・故障の原因になります。



カメラ本体は、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



コードをシートレールにはさんだり、突起物に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



コード類の配線は、高温部・可動部を避けて行き、しっかり固定してください。高温部に接触してコードの被膜がとけたり、可動部分による咬み込みによりショートや断線が起こり火災・感電の原因になります。



付属品を指定通りに使い、しっかりと固定してください。事故・故障の原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。また、取り付け場所を移す場合や取り付け車両を変更する場合もお買い上げ店に依頼してください。



カメラ本体以外は水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。事故・故障の原因になります。



車以外に使わないでください。火災・感電の原因になります。



電動ドライバーの使用を禁止します。

電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。



取り扱い上のご注意

取り付けについて

- 本機は弊社が販売する車種別取付キット専用商品です。必ず車種別取付キットを使用し取り付けを行ってください。専用の取付キット以外を使用した場合、性能が十分に確保できず 正常に表示しません。

本機の映像について

- 本機は広角レンズを使用しているためにディスプレイ上の映像と実際の距離とは異なります。

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 画面ノイズや誤作動の原因になる場合があります。携帯電話や無線機は本機から離れてご使用になることをお勧めします。

無理な力を加えない

- カメラの向きのズレ、カメラ取り付け台はがれの原因になりますので、カメラ・取り付け台に無理な力を加えないでください。またカメラ破損の恐れがありますので飛び石等にはご注意ください。

お手入れについて

- レンズに雨滴や汚れが付着した場合、やわらかい布に水を含ませて拭いてください。カメラのレンズ部分・取り付け台・コード類は変形や劣化をふせぐため薬品や磨き粉等を使用しないでください。レンズに傷がつくと、映像が見えにくくなります。

洗車時の注意

- 自動洗車機や高圧洗車は行わないでください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む可能性があります。

夜間および、悪天候時のご使用について

- 本機を夜間や悪天候時にご使用になるときは映像が見えにくくなる場合があります。必ず目視にて車両周辺状況をご確認ください。


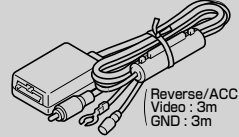
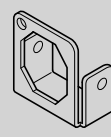
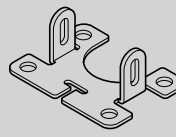


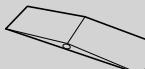





4

構成部品

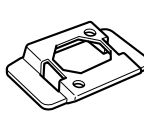
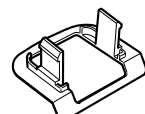

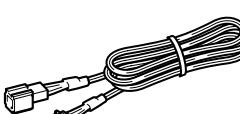
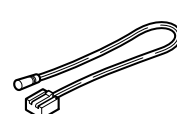
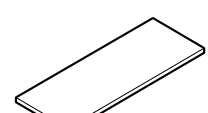
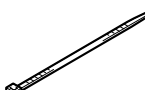
※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

■バックビューカメラ (HCE-C1000)

■部の部品は使用しません。

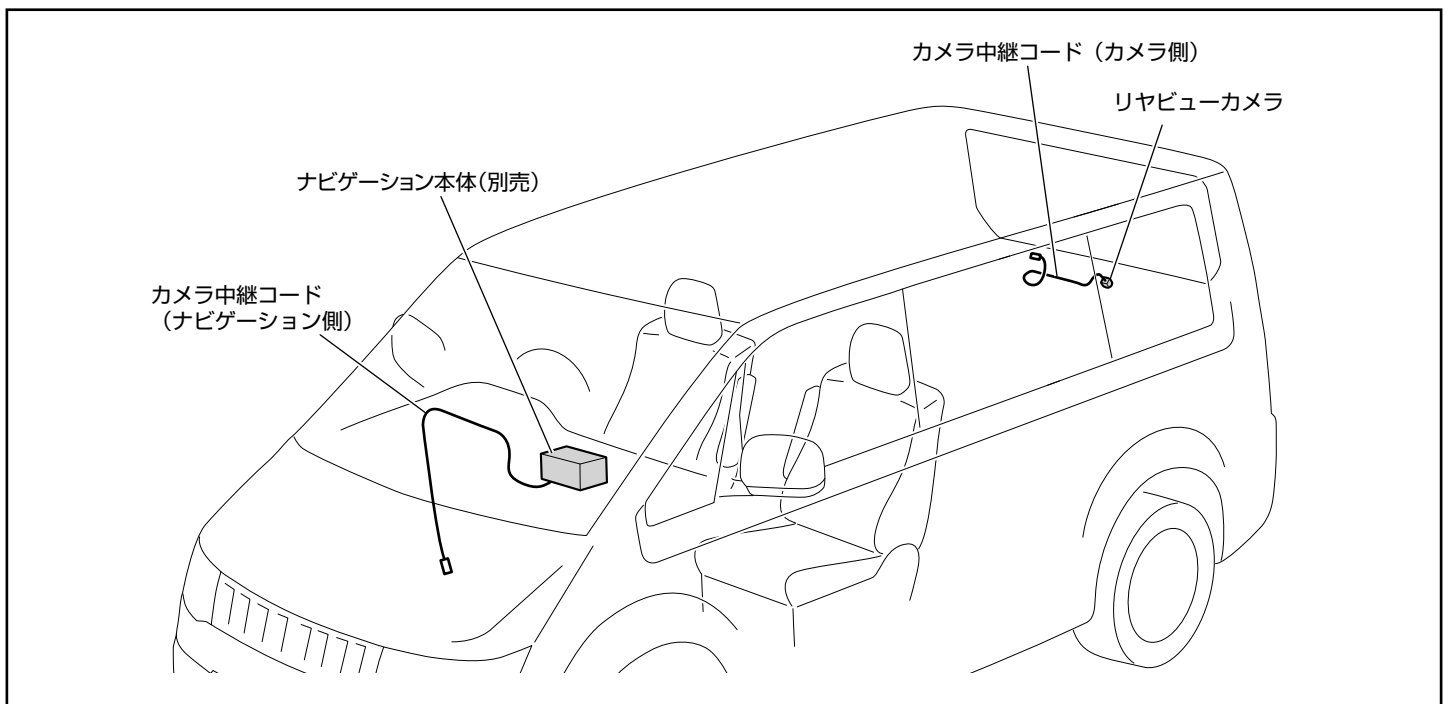
リヤビューカメラ(0.5m)	電源ユニット	取り付け金具	カメラ取り付け台	カメラ取り付けネジ
 ×1	 ×1 Reverse/ACC : 3m Video : 3m GND : 3m	 ×1	 ×1	 ×4 (カメラ取付ネジ2個、 角度調整ネジ2個)
カメラ取り付け台固定用タッピングネジ	防水パッド	両面テープ(防水パッド接着用)	カメラ延長コード	バンドクランプ
 ×4	 ×1	 ×1	 ×1	 ×5
取扱説明書	保証書			
 ×1	 ×1			

■取付キット

取付パネルA	取付パネルB	グロメット	カメラ中継コード(ナビゲーション側)	カメラ中継コード(カメラ側)
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1	 ×1
クッションテープ(75mm×250mm)	結束バンド(小)			
 ×2	 ×15			

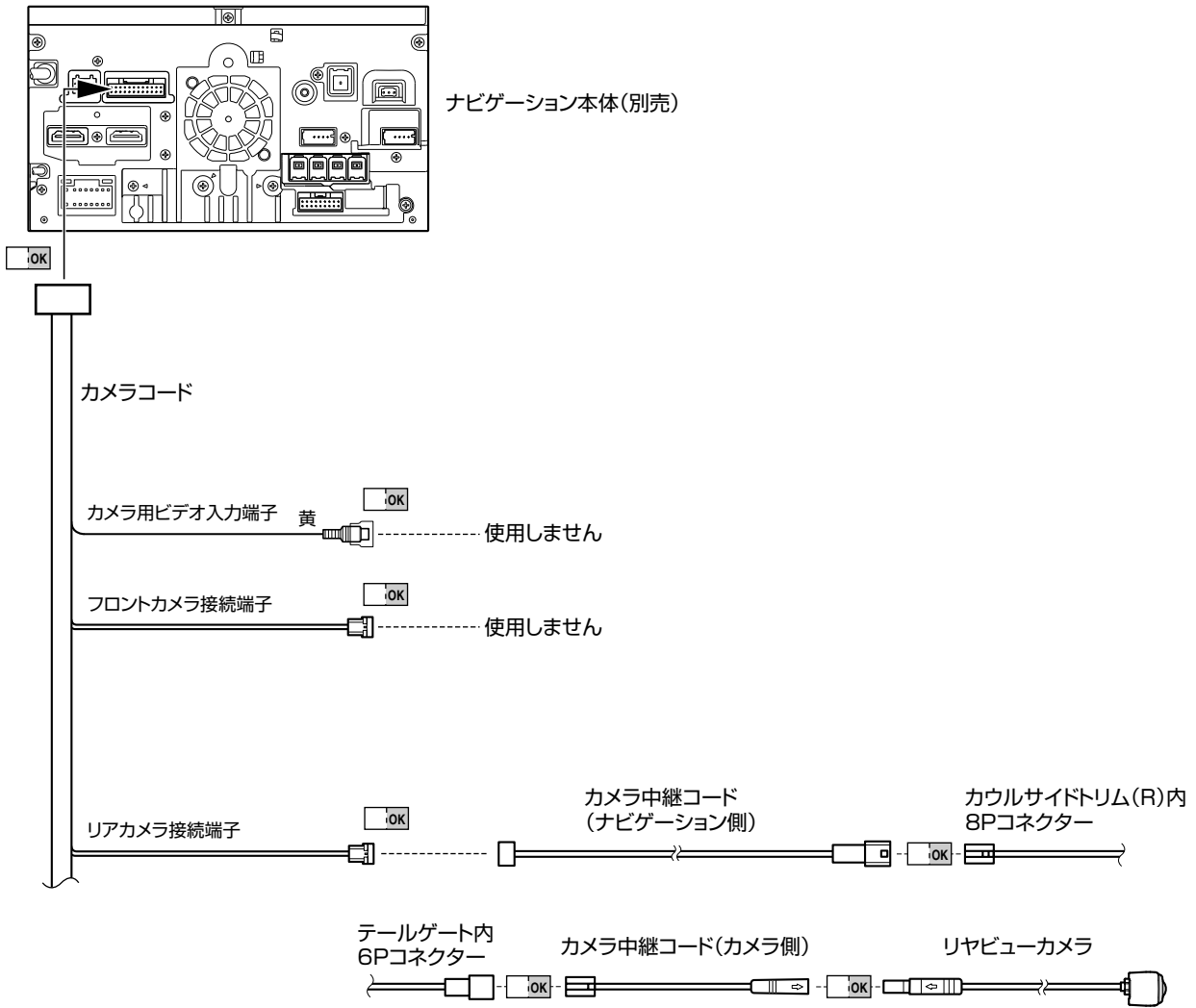
5

取付概要



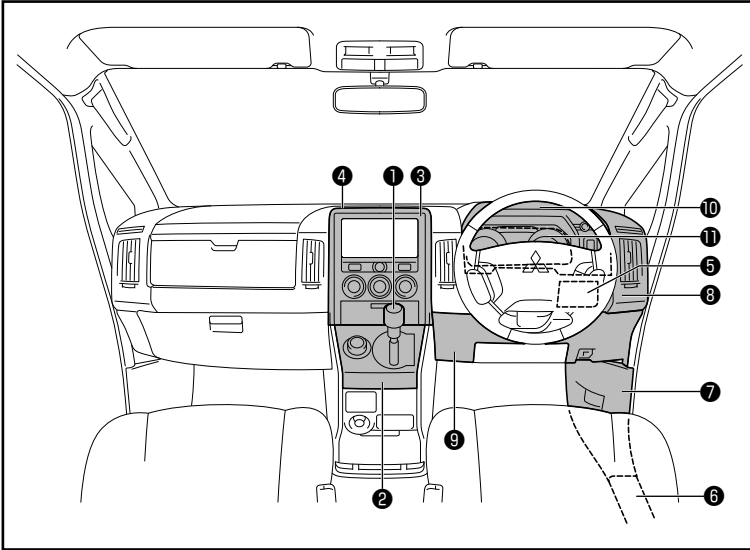
■基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続するごとに OK に ✓ 点をつけてください)



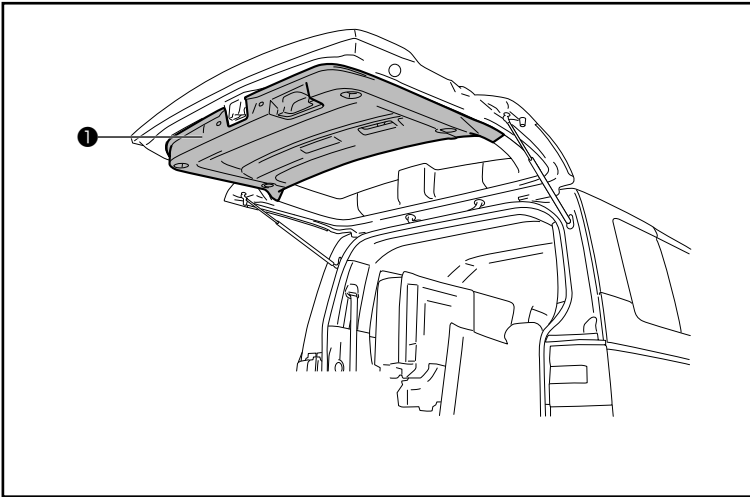
1. 車両部品の取り外し

注意 バッテリーを外す前にリアゲートを開けてください。 ※電磁ロックがかかり開けられなくなります。



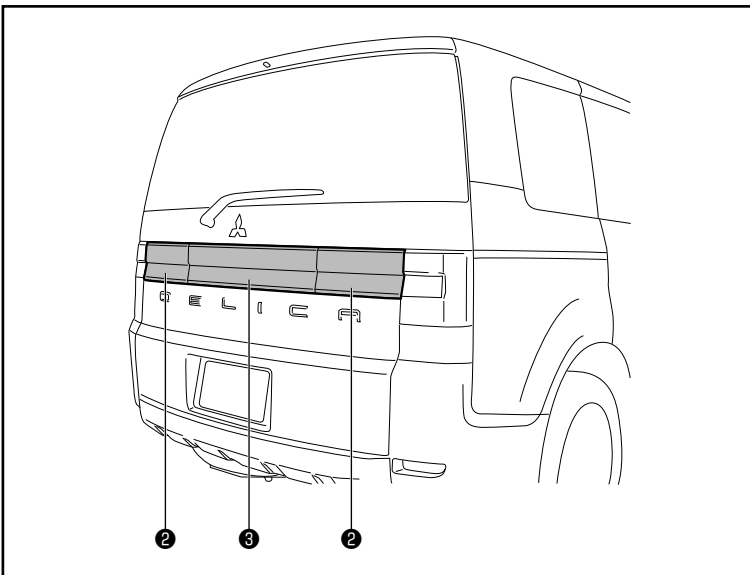
1. 左図を参照して内装部品を外します。

	部 品 名
①	セレクターレバーノブ
②	シフトインジケーターパネル
③	インストルメントパネルセンターパネル ASSY
④	インストルメントパネルコンソールパネル
⑤	インストルメントパネルスイッチパネル
⑥	フロントドアステップトリム (R)
⑦	カウルサイドトリム (R)
⑧	インストルメントパネルサイドカバー (R)
⑨	インストルメントパネルローカバー
⑩	コンビネーションメーターベゼル
⑪	コンビネーションメーター ASSY



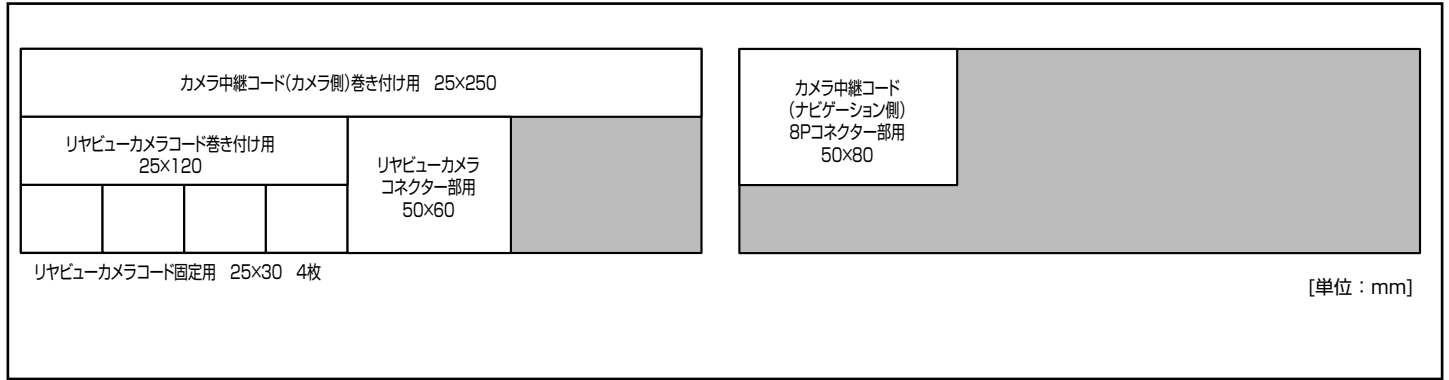
2. 左図を参照して内装部品を外します。

	部 品 名
①	テールゲートロワートリム
②	テールランプ ASSY (L・R)
③	テールゲートガーニッシュアップパー

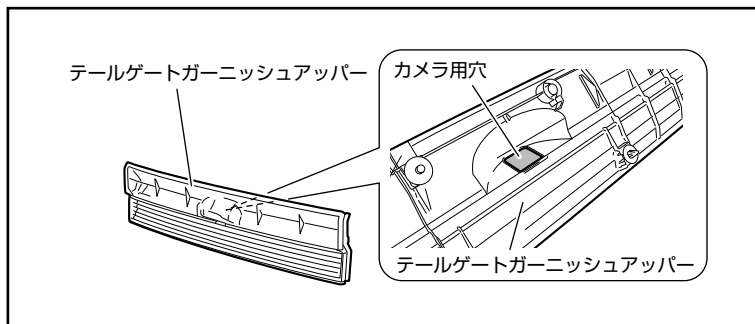


2. クッションテープのカット

1. クッションテープ（75mm×250mm）を下図にしたがってカットします。



3. リヤビューカメラの取り付け

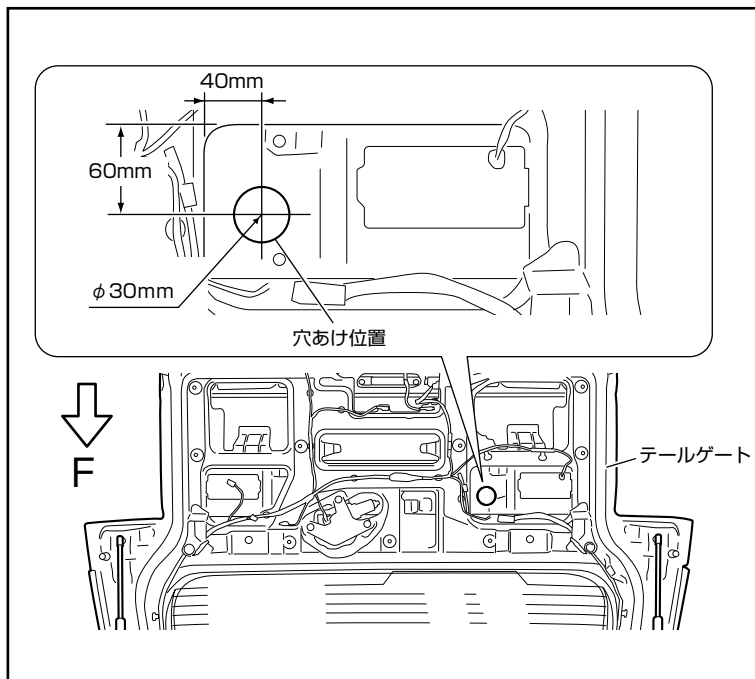


■テールゲートガーニッシュアッパーの加工

1. テールゲートガーニッシュアッパーの図の位置を穴あけ加工します。



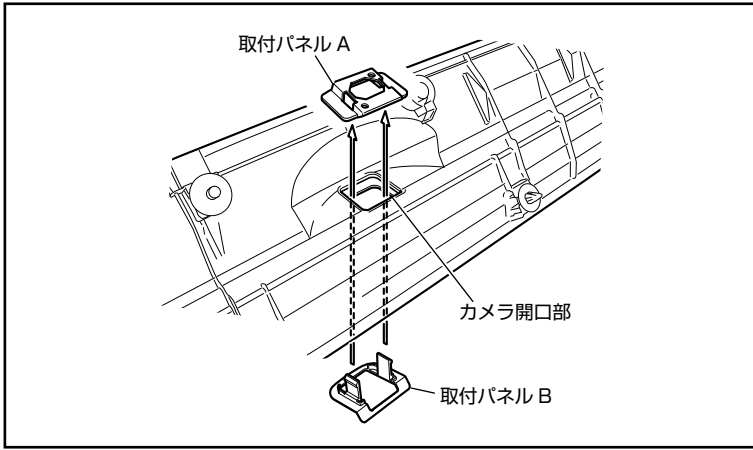
注意 加工の際、保護メガネ（ゴーグルなど）・保護手袋（軍手など）を着用し刃物の取り扱いに注意してください。



2. テールゲートの左図の位置に、配線用の穴をあけます。

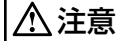


- 加工の際、保護メガネ（ゴーグルなど）・保護手袋（軍手など）を着用し刃物の取り扱いに注意してください。
- ホワイトガソリンや脱脂剤を使用して油分をよく拭き取ってください。この時、シンナー、ベンジン、ガソリン等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 下穴をあけてから穴をあけてください。
- 穴あけ加工後はバリ取りを十分に行い、防錆処理を必ず行ってください。
- 作業は十分換気をしながら火気のないところで行ってください。



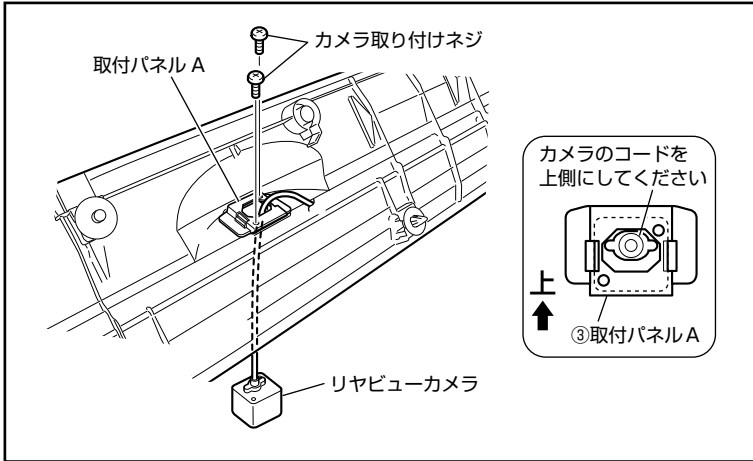
■リヤビューカメラ本体の取り付け

1. テールゲートガーニッシュアップパーのカメラ開口部に取付パネルA と取付パネルB を取り付けます。



注意

- 取付パネルBのツメが取付パネルAにしっかりとかかっていることを確認してください。
- 取り付け時に破損しないように注意してください。

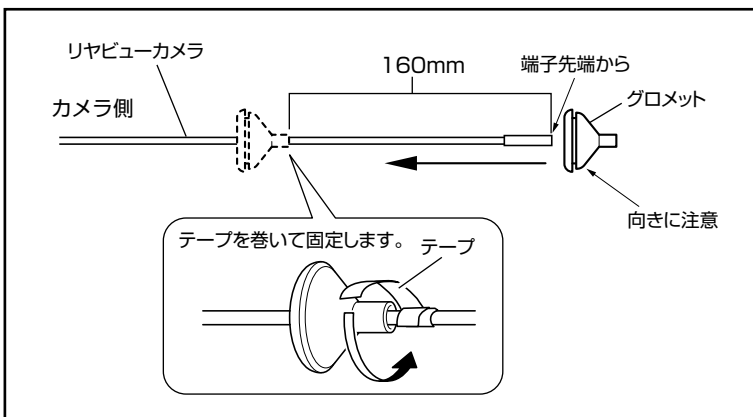


2. リヤビューカメラを取付パネルAに取り付けます。



注意

- リヤビューカメラの上下方向に注意してください。
- カメラ取り付けネジは「0.63N・m」で締め付けてください。

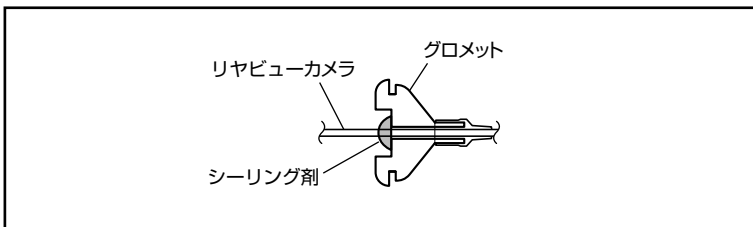
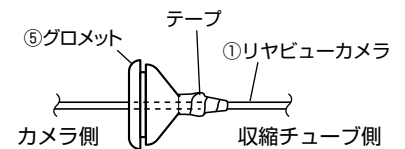


3. リヤビューカメラのコードにグロメットを通し、テープで固定します。

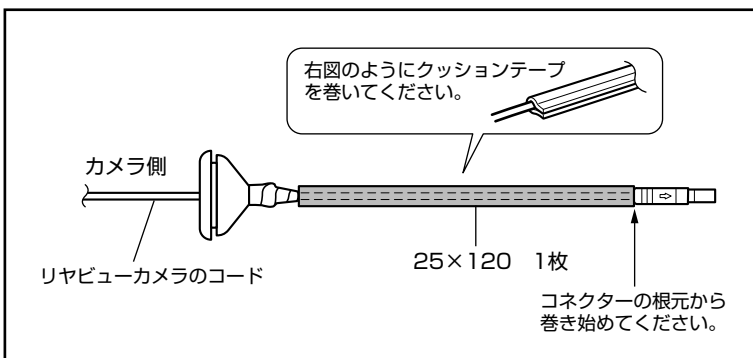


注意

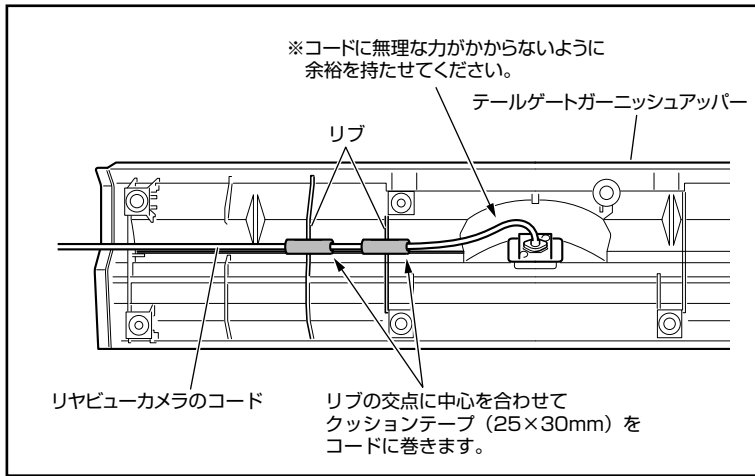
- グロメットの向きに注意してください。
- グロメットとコードの間にすき間ができないよう確実にテープで固定してください。



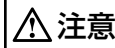
4. グロメットのケーブル部分にシーリング剤などで防水処理をします。



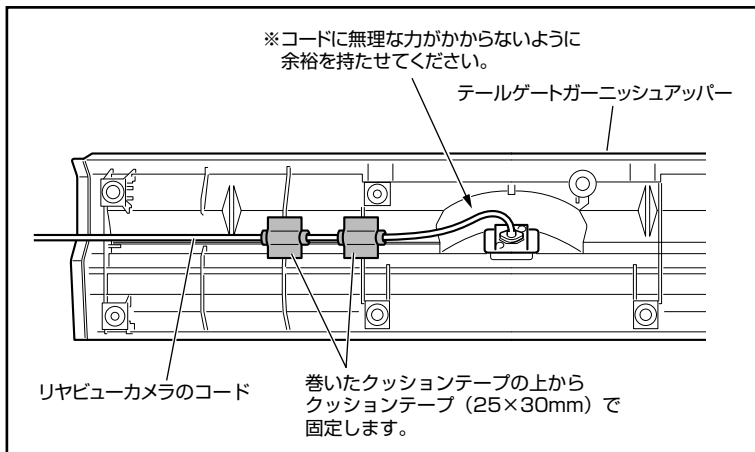
5. リヤビューカメラのコードの左図の位置にクッションテープを巻きます。



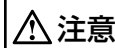
6. リヤビューカメラのコードにクッションテープを巻きます。



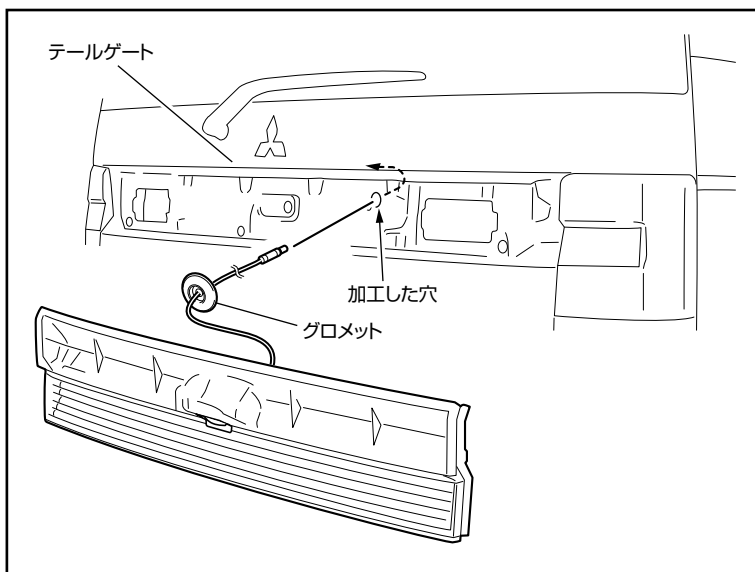
注意 コードに無理な力がかからないように余裕を持たせてください。



7. リヤビューカメラのコードをクッションテープで左図の位置に固定します。

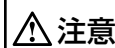


注意 コードに無理な力がかからないように余裕を持たせてください。

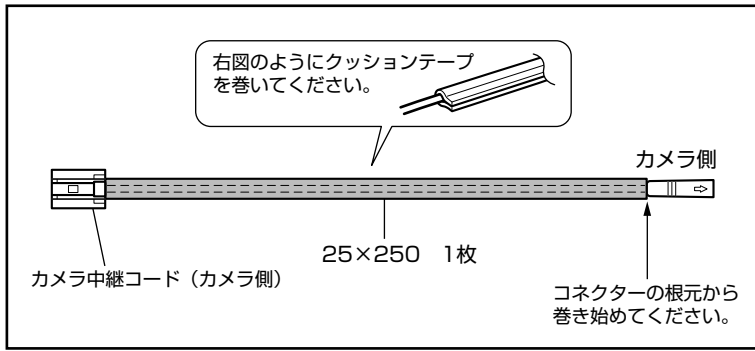


8. テールゲートの外側から、加工した穴にリヤビューカメラのコンネクターを通し、グロメットを取り付けます。

9. テールゲートガーニッシュアップパーを元通りに復元します。

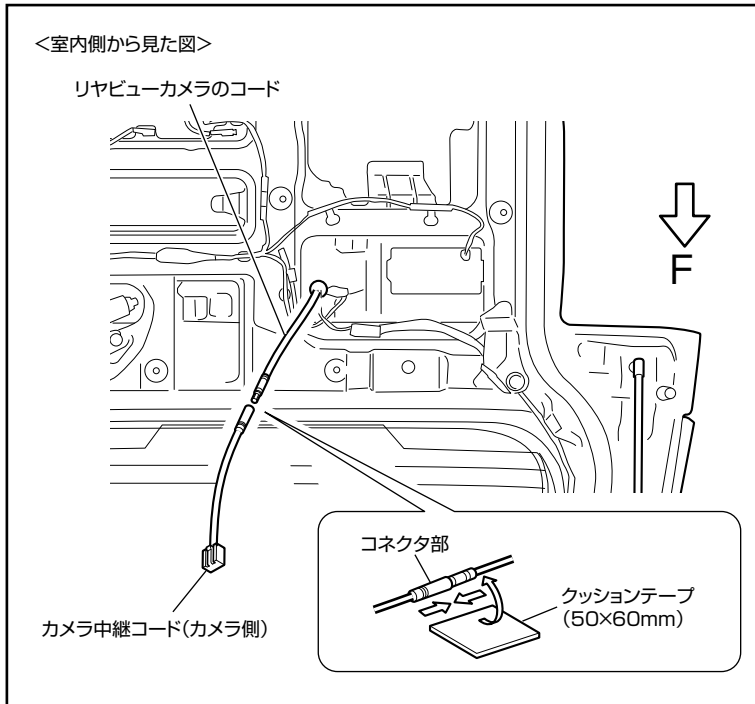


注意 各配線の挟み込みに注意してください。

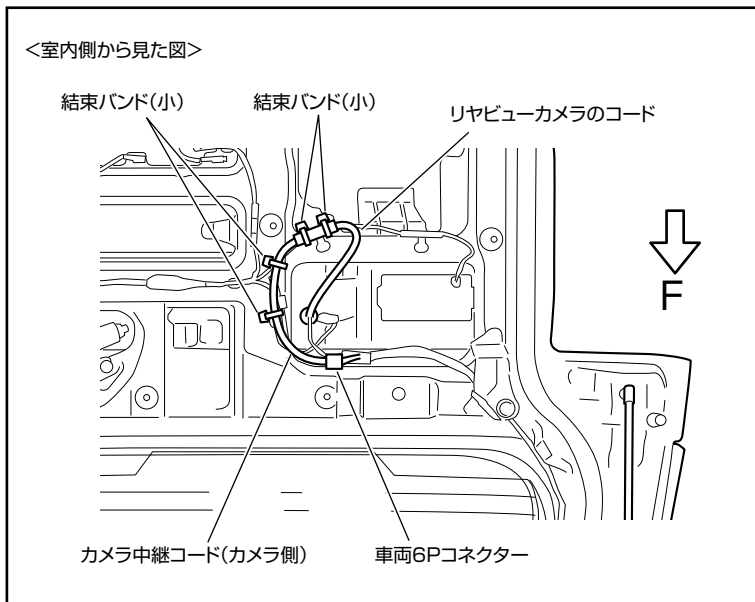


■カメラ中継コード (カメラ側) の配線

1. カメラ中継コード (カメラ側) の左図の位置にクッションテープを巻きます。

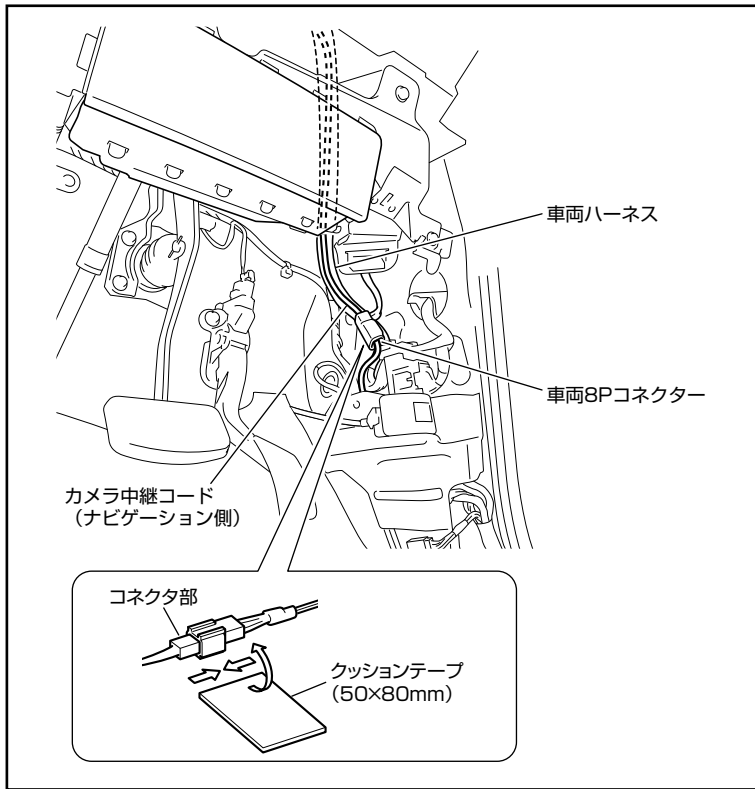


2. カメラ中継コード (カメラ側) とリヤビューカメラを接続し、コネクタ部にクッションテープを巻いて保護します。



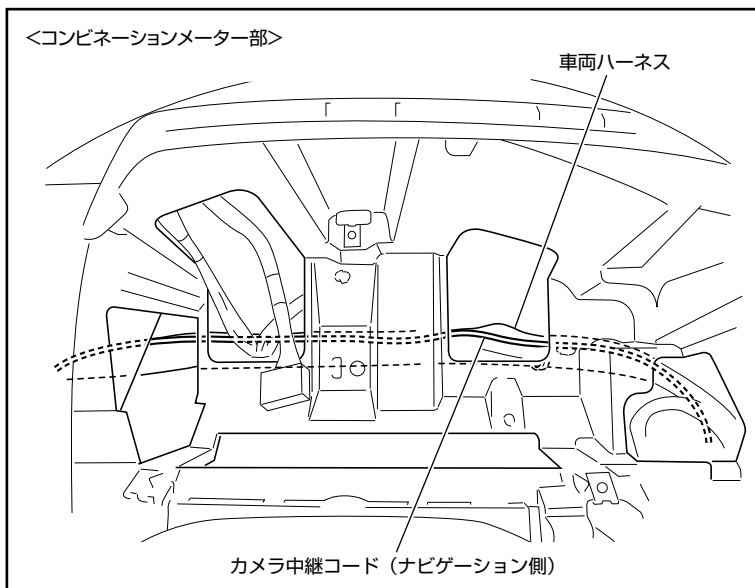
3. テールゲート内にある車両6Pコネクタにカメラ中継コード (カメラ側) を接続します。

4. カメラ中継コード (カメラ側) を車両ハーネスに沿って結束バンド (小) で固定します。

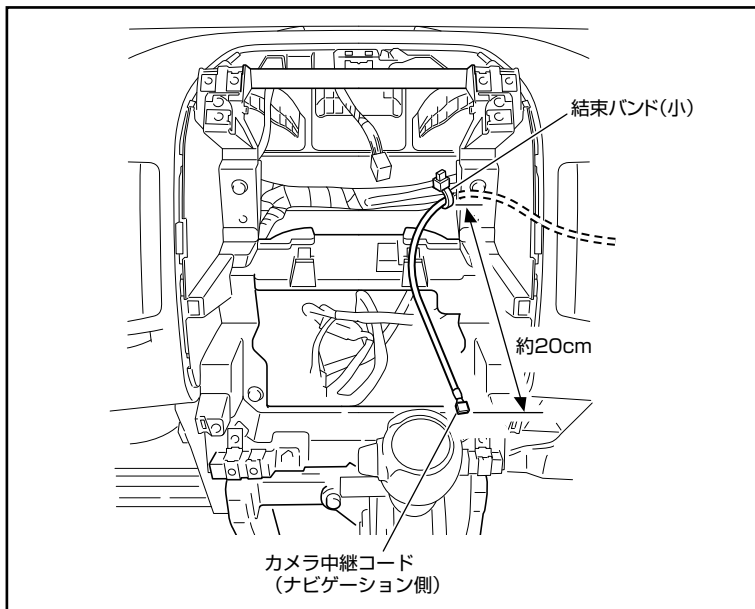


■カメラ中継コード（ナビゲーション側）の配線

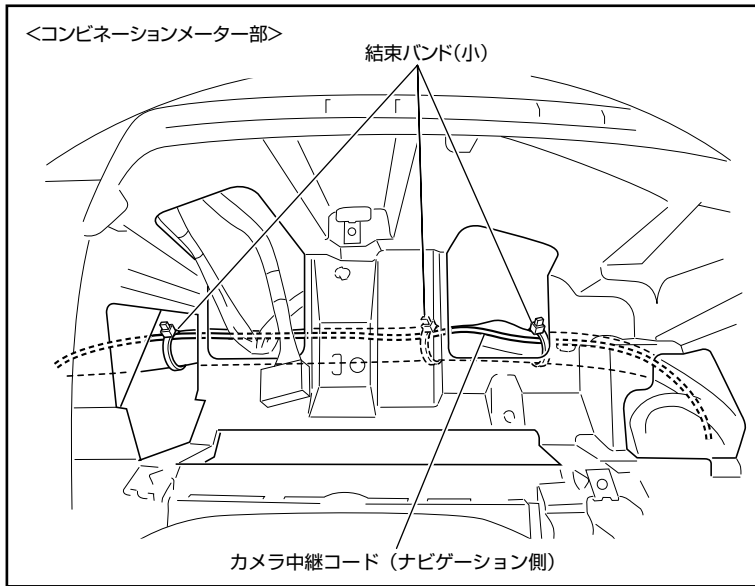
1. カウルサイドトリム（R）内にある車両8Pコネクタにカメラ中継コード（ナビゲーション側）を接続し、コネクタ部にクッションテープを巻いて保護します。
2. カメラ中継コード（ナビゲーション側）をインストルメントパネル奥の車両ハーネスに沿ってコンビネーションメーター部裏へ仮配線します。



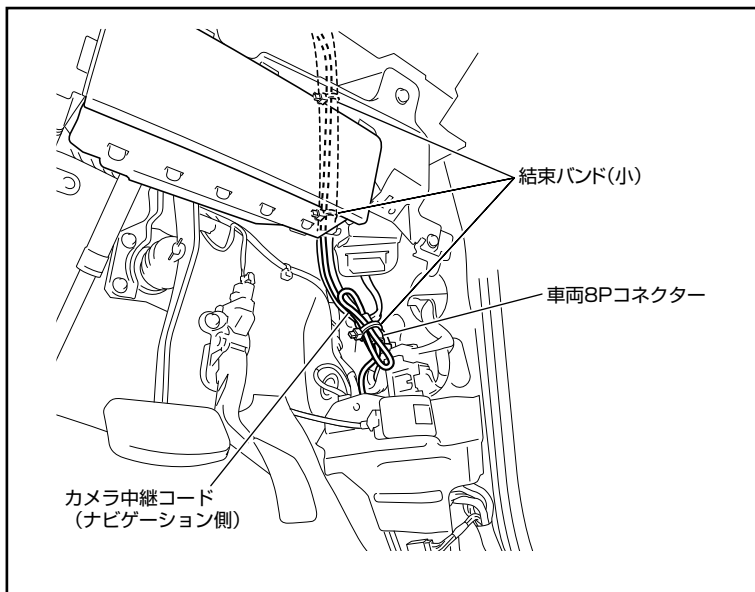
3. コンビネーションメーター部裏の車両ハーネスに沿ってオーディオ取付スペースまで仮配線します。



4. インストルメントパネルコンソールセンター上部まで配線し、車両ハーネスに結束バンド（小）で固定します。

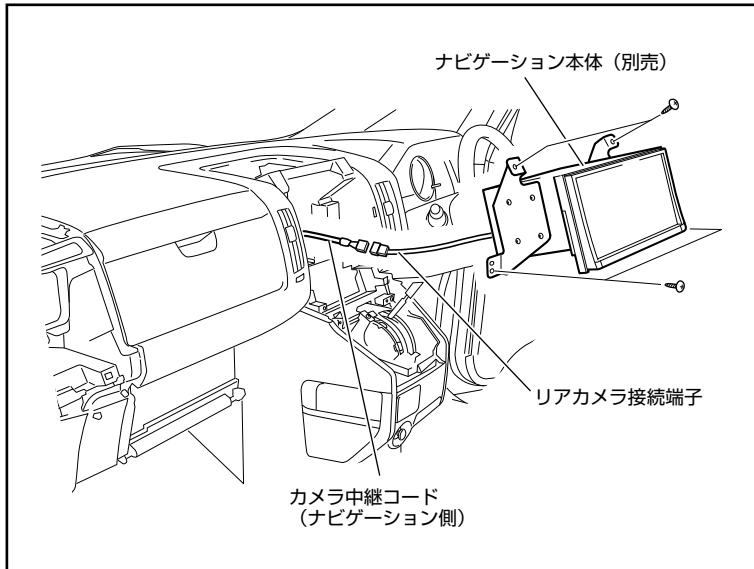


5. カメラ中継コード (ナビゲーション側) をコンビネーションメーター部裏の車両ハーネスに結束バンド (小) で固定します。



6. カメラ中継コード (ナビゲーション側) をインストールパネル奥の車両ハーネスに、結束バンド (小) で固定します。
7. 車両8Pコネクタ部と一緒に余長を束ねて、車両ハーネスに結束バンド (小) で固定します。

4. ナビゲーション本体の取り付け



■ナビゲーション本体の取り付け

1. 接続図を参照してナビゲーション本体（別売）に配線を接続します。
2. ナビゲーション本体（別売）をオーディオ取付スペースに取り付けます。



注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

5. 車両部品の復元/動作確認

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。
2. 各カメラの映像が出ることを確認します。

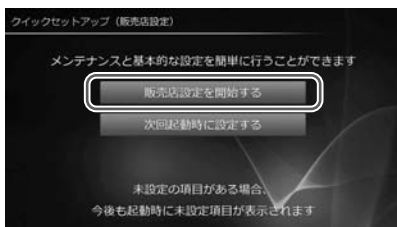
8

接続確認/システム設定

■クイックセットアップを行います

取り付け完了後、初回起動時にクイックセットアップ（販売店設定）画面が表示されます。

1. クイックセットアップ（販売店設定）画面の **販売店設定を開始する** にタッチします。



2. **設定する** にタッチします。



3. **MITSUBISHI** を選択して **決定** にタッチします。

4. **デリカ D:5** を選択して **決定** にタッチします。

5. 各接続機器を設定して **決定** にタッチします。

※接続する製品により設定項目が異なります。

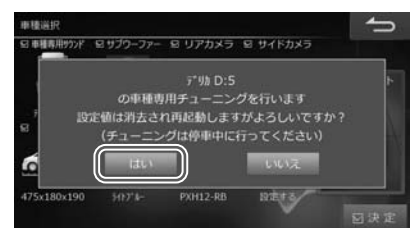
- ・リアカメラ接続 : **HCE-C1000D**
- ・サイドカメラ接続 : **カメラなし**
- ・サブウーファー : **なし**
- ・ステアリングリモコン : **設定する**

6. 設定内容を確認して **決定** にタッチします。



車種専用セッティングを行い確認画面が表示されます。車種専用セッティング中は電源を切らないでください。

7. **はい** にタッチします。



車種専用セッティングの完了です。